学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法
科目コード：120308

成人看護方法論Ⅱ Adult Nursing Ⅱ

担当教員	松本智里、牧野智恵				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。				
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	成人期の特徴、健康機能障害、機能障害のアセスメント、看護援助方法				
学習目的・目標	＜目的＞ 成人期における人間の健康機能障害をアセスメントし、看護上の問題を確定したうえで看護実践の基本となる実践的思考プロセスを学修する。 ＜目標＞ １．成人期に生じる栄養・代謝、腎、運動機能障害をもつ患者の健康障害の原因・要因について述べることができる。 ２．成人期に生じる栄養・代謝、腎、運動機能障害をもつ患者の日常生活における影響について述べることができる。 ３．事例を通して、成人期に生じる栄養・代謝、腎、運動機能障害をもつ患者のアセスメントの視点について述べることができる。 ４．各機能障害における具体的な援助の方法について述べることができる。				

授業計画・内容

回	内容	担当
事前準備	※各機能に関連する解剖・生理学、疾病障害論当について復習の上、受講する。 ※各機能障害に関する事前課題が提示されるので、それを実施の上、受講する。	
1-3	・栄養・代謝機能に障害をもつ患者のアセスメント ・栄養・代謝機能に障害をもつ患者の理解と援助方法	牧野
4-6	・腎機能に障害をもつ患者のアセスメント ・腎機能に障害をもつ患者の理解と援助方法	松本
7-8	・運動機能に障害をもつ患者のアセスメント ・運動機能に障害をもつ患者の理解と援助方法	松本

教科書	疾病・障害論で使用したテキスト 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学（５）消化器、（６）内分泌・代謝、（８）腎・泌尿器、（１０）運動器
参考図書等	疾病・障害論で使用した教科書及び資料 看護学大辞典第6版（電子版）メジカルフレンド社
評価指標	・講義の２／３以上の出席がなければ、試験は受験できず評価の対象にはならない。 ・授業時間内に指示されるアセスメントレポート20%、および最終筆記試験80%の合計で評価する。
関連科目	解剖生理学、解剖生理学演習、代謝と栄養、疾病・障害論ⅡＡ、疾病・障害論ⅡＢ、疾病・障害論ⅡＣ等
教員から学生へのメッセージ	成人看護学で学ぶ範囲は広範囲です。疾病障害論当で学んだことを想起・振り返りながら学習してください。 暗記をしても知識は定着しません。じっくり考え時間をかけた学習をしてください。看護学は人間の健康生活に即して考える学問なので、自身の生活、周囲の方々をウオッチングしながら考えると看護がおもしろくなります。